

令和7年度シラバス(歴史総合)

学番53 県立小出高等学校

| | | | | | | | |
|-------------|---|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 教科(科目) | 地理歴史(歴史総合) | 単位数 | 2単位 | 学年 | 2学年 | コース | 共通 |
| 教科書 副教材等 | [主たる教材] 帝国書院「明解 歴史総合」 [副教材] 帝国書院「明解 歴史総合ノート」 | | | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|--|
| グラデュエーション・ポリシー | ①全教科にわたる確かな学力と、学習や諸活動に粘り強く取り組むたくましい心身を育成します。 ②高い倫理観をもち、誠実にして自律した行動をとる態度と心を育成します。 ③多様な価値観を認めて他者と協力して取り組み、新しい価値を生み出す創造力を育成します。 ④郷土を愛し、地域社会に貢献しようとする心を育成します。 |
| カリキュラム・ポリシー | ①大学進学をはじめとした多様な進路希望に対応する教育活動を実施します。 ②ICTを有効に活用し、確かな学力の定着を図るとともに、他者と交流する教育活動を展開します。 ③たくましい心身の育成に重点を置いた部活動に取り組みます。 ④「医療専攻」を核として、地域と連携した総合的に探究的な時間を展開します。 |

2 学習目標

| |
|--|
| 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 近現代の歴史に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。 |
|--|

3 学習計画

| 月 | 内容 | 時間 | 指導上の留意点 | 評価の観点 | 評価方法 |
|----|-------------------|----|--|-------|----------------------------|
| 4 | 歴史と私たち／歴史の特質と資料 | 3 | ・中学社会科との関連をはかるとともに、基本的な事項を基に指導内容を構成する。 ・地理的条件と関連付けながら学習を深める。 ・近現代の歴史と現代的な諸課題との関わりを、政治、経済、社会、文化、宗教、生活などの視点から多角的・多面的に考察する。 ・年表や地図、その他の資料を積極的に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、討論したりするなどの活動を充実する。 ・世界的視野から日本の位置を捉えるとともに、琉球やアイヌの文化についても触れる。 | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| | 1章 江戸時代の日本と結び付く世界 | 3 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| 5 | 2章 欧米諸国における近代化 | 4 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| | 1学期中間考査 | 1 | | ①② | 定期考査 |
| 6 | 3章 近代化の進展と国民国家形成 | 5 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| | 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 | 4 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| 7 | 1学期期末考査 | 1 | | ①② | 定期考査 |
| 9 | 5章 近代化が進む日本と東アジア | 3 | ・中学社会科との関連をはかるとともに、基本的な事項を基に指導内容を構成する。 ・地理的条件と関連付けながら学習を深める。 ・近現代の歴史と現代的な諸課題との関わりを、政治、経済、社会、文化、宗教、生活などの視点から多角的・多面的に考察する。 ・年表や地図、その他の資料を積極的に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、討論したりするなどの活動を充実する。 ・世界的視野から日本の位置を捉えるとともに、琉球やアイヌの文化についても触れる。 | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| | 1章 第一次世界大戦と日本の対応 | 4 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| | 2章 国際協調と大衆社会の広がり | 3 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| 10 | 3章 日本の行方と第二次世界大戦 | 4 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |

| | | | | | |
|----|--------------------|----|--|-----|----------------------------|
| | 2学期中間考査 | 1 | | ①② | 定期考査 |
| 11 | 4章 再出発する世界と日本 | 8 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| 12 | 1章 冷戦で揺れる世界と日本 | 8 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| | 2学期期末考査 | 1 | | ①② | 定期考査 |
| 1 | 2章 多極化する世界 | 7 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| 2 | 3章 グローバル化のなかの世界と日本 | 6 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| 3 | 課題発表 | 3 | | ①②③ | 小テスト,授業プリント,作図,授業プリント,授業態度 |
| | 学年末考査 | 1 | | ①② | 定期考査 |
| | 合 計 | 70 | | | |

(50分)

4 評価の観点の趣旨と評価方法

| | ①知識・技能 | ②思考・判断・表現 | ③主体的に学習に取り組む態度 |
|----------|---|---|---|
| 評価の観点の趣旨 | 近現代の歴史に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 |

令和7年度シラバス(公共)

学番53 県立小出高等学校

| | | | | | | | |
|-------------|--|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 教科(科目) | 公民(公共) | 単位数 | 2単位 | 学年 | 2学年 | コース | 共通 |
| 教科書 副教材等 | [主たる教材] 東京法令出版「公共」 [副教材] 第一学習社「クローズアップ 公共 2025」 | | | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|--|
| グラデュエーション・ポリシー | ①全教科にわたる確かな学力と、学習や諸活動に粘り強く取り組むたくましい心身を育成します。 ②高い倫理観をもち、誠実にして自律した行動をとる態度と心を育成します。 ③多様な価値観を認めて他者と協力して取り組み、新しい価値を生み出す創造力を育成します。 ④郷土を愛し、地域社会に貢献しようとする心を育成します。 |
| カリキュラム・ポリシー | ①大学進学をはじめとした多様な進路希望に対応する教育活動を実施します。 ②ICTを有効に活用し、確かな学力の定着を図るとともに、他者と交流する教育活動を展開します。 ③たくましい心身の育成に重点を置いた部活動に取り組みます。 ④「医療専攻」を核として、地域と連携した総合的に探究的な時間を展開します。 |

2 学習目標

| |
|--|
| 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解させる。また、諸資料から、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養う。 (3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。 |
|--|

3 学習計画

| 月 | 内容 | 時間 | 指導上の留意点 | 評価の観点 | 評価方法 |
|---|-----------------------------|----|---|-------|--|
| 4 | ～公共の扉をひらくために～ | 10 | 青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。 | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テスト ディスカッション、レポート 授業態度 |
| 5 | 第1章「公共的な空間をつくる私たち」 | | | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テスト ディスカッション、レポート 授業態度 |
| | 第2章「公共的空間における人間としてのあり方・行き方」 | | | a,b | |
| | 1学期中間考査 | | | | |
| 6 | 第3章「公共的な空間における基本原理と日本国憲法」 | 10 | 個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本的な原理を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢を理解させる | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テスト ディスカッション、レポート 授業態度 |
| | ～よりよい社会の形成に参画するために～ | | | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テスト ディスカッション、レポート 授業態度 |
| 7 | 第1章「日本の政治機構と政治参加」① | | | a,b | |
| | 1学期期末考査 | | | | |
| 9 | 第1章「日本の政治機構と政治参加」② | | | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テスト ディスカッション、レポート 授業態度 |

| | | | | | |
|-----|------------------|----|--|-------|------------------------------------|
| 10 | 第2章「経済のしくみ」 | 15 | 市場経済の機能、金融や財政の仕組みについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。 国際経済についての基本的な知識を身につけさせ、グローバル化する経済が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。 | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テストディスカッション、レポート授業態度 |
| | 2学期中間考査 | | | a,b | |
| 11 | 第4章「変化する日本経済」 | 17 | | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テストディスカッション、レポート授業態度 |
| | 第5章「豊かな生活の実現」 | | | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テストディスカッション、レポート授業態度 |
| 12 | 第6章「国際政治のしくみと動向」 | 17 | 国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。 | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テストディスカッション、レポート授業態度 |
| | 2学期期末考査 | | | a,b | |
| 1 | 第6章「国際経済の仕組みと動向」 | 18 | | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テストディスカッション、レポート授業態度 |
| | 第7章「国際社会の現状と課題」 | | | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テストディスカッション、レポート授業態度 |
| 2 | ～持続可能な社会をつくるために～ | 18 | | a,b,c | 新聞などからの読み取り、定期テストディスカッション、レポート授業態度 |
| | 学年末考査 | | | a,b | |
| 合 計 | | 70 | | | |

(50分)

4 評価の観点の趣旨と評価方法

| | 知識・技能 a | 思考・判断・表現 b | 主体的に学習に取り組む態度 c |
|----------|--|--|--|
| 評価の観点の趣旨 | <ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択、判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力がある。 | <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚、国民主権を担う公民として各国民が協力し合うことの大切さの自覚などを深めようとしている。 |
| 評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> 発問評価 提出課題 小テスト 定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> 発問評価 提出課題 定期考査 | <ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 |

令和7年度シラバス(物理基礎)

学番53 県立小出高等学校

| | | | | | | | |
|-------------|---|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 教科(科目) | 理科(物理基礎) | 単位数 | 2単位 | 学年 | 2学年 | コース | 共通 |
| 教科書 副教材等 | [主たる教材] 新物理基礎 (第一学習社) [副教材] 新課程版 ネオパルノート 物理基礎(第一学習社) | | | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|--|
| グラデュエーション・ポリシー | <ul style="list-style-type: none"> ①全教科にわたる確かな学力と、学習や諸活動に粘り強く取り組むたくましい心身を育成します。 ②高い倫理観をもち、誠実にして自律した行動をとる態度と心を育成します。 ③多様な価値観を認めて他者と協力して取り組み、新しい価値を生み出す創造力を育成します。 ④郷土を愛し、地域社会に貢献しようとする心を育成します。 |
| カリキュラム・ポリシー | <ul style="list-style-type: none"> ①大学進学をはじめとした多様な進路希望に対応する教育活動を実施します。 ②ICTを有効に活用し、確かな学力の定着を図るとともに、他者と交流する教育活動を展開します。 ③たくましい心身の育成に重点を置いた部活動に取り組みます。 ④「医療専攻」を核として、地域と連携した総合的に探究的な時間を展開します。 |

2 学習目標

| |
|--|
| <p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 |
|--|

3 学習計画

| 月 | 内容 | 時間 | 指導上の留意点 | 評価の観点 | 評価方法 | |
|--------|---------------------|----|--|-------|------|--|
| 4,5 | 物体の運動 | 14 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校理科との関連を考慮し、知識及び技能と思考力、判断力、表現力等とを相互に関連させながら、科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指す。 ・観察、実験などを行い、探究の過程を踏まえた学習活動を行うようにする。 ・日常生活や社会で利用されている科学技術の具体的事例を取り上げる。 | ③ | 課題 | |
| | テスト | 1 | | ①② | テスト | |
| 6,7 | 力と運動の法則 | 14 | | ③ | 課題 | |
| | テスト | 1 | | ①② | テスト | |
| 8,9,10 | 仕事と力学的エネルギー、熱とエネルギー | 14 | | ③ | 課題 | |
| | テスト | 1 | | ①② | テスト | |
| 11,12 | 波の性質・音波、電荷と電流 | 16 | | ③ | 課題 | |
| | テスト | 1 | | ①② | テスト | |
| 1,2 | 電流と磁場、エネルギーとその利用 | 7 | | ③ | 課題 | |
| | テスト | 1 | | ①② | テスト | |
| 合計 | | 70 | | | | |

(50分)

4 評価の観点の趣旨と評価方法

| 評価の観点の趣旨 | ①知識・技能 | ②思考・判断・表現 | ③主体的に学習に取り組む態度 |
|----------|---|--|--|
| | 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけている。 | 学んだ知識や物理法則、原理を活用し、思考力を要する問題に取り組むことができる。 観察、実験について予想を立て、得られた結果を分析して解釈し、科学的に表現することができる。 | 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている。 |
| 評価方法 | テスト 課題(授業プリント、実験レポートなど) | テスト 課題(授業プリント、実験レポートなど) | 課題(授業プリント、実験レポートなど) |

令和7年度シラバス(生物基礎)

学番53 県立小出高等学校

| 教科(科目) | 理科(生物基礎) | 単位数 | 2単位 | 学年 | 2学年 | コース | 共通 |
|-------------|--|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 教科書 副教材等 | [主たる教材] i版生物基礎(啓林館) [副教材] フォトサイエンス生物図録(数研出版) 新編センサー生物基礎(啓林館) | | | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|--|
| グラデュエーション・ポリシー | ①全教科にわたる確かな学力と、学習や諸活動に粘り強く取り組むたくましい心身を育成します。 ②高い倫理観をもち、誠実にして自律した行動をとる態度と心を育成します。 ③多様な価値観を認めて他者と協力して取り組み、新しい価値を生み出す創造力を育成します。 ④郷土を愛し、地域社会に貢献しようとする心を育成します。 |
| カリキュラム・ポリシー | ①大学進学をはじめとした多様な進路希望に対応する教育活動を実施します。 ②ICTを有効に活用し、確かな学力の定着を図るとともに、他者と交流する教育活動を展開します。 ③たくましい心身の育成に重点を置いた部活動に取り組みます。 ④「医療専攻」を核として、地域と連携した総合的に探究的な時間を展開します。 |

2 学習目標

| |
|---|
| 理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 |
|---|

3 学習計画

| 月 | 内容 | 時間 | 指導上の留意点 | 評価の観点 | 評価方法 |
|-------|--------------------------|----|---|--------|--------|
| | 第1部生物の特徴 | | ・中学校理科との関連を考慮し、知識及び技能と思考力、判断力、表現力等を相互に関連させながら、科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指す。 ・観察、実験などを行い、探究の過程を踏まえた学習活動を行うようにする。 ・日常生活や社会で利用されている科学技術の具体的事例を取り上げる。 | | |
| 4 | 1章生物の特徴 生物の共通性と多様性 | 6 | | ①②③ | テスト・課題 |
| 5,6 | 1章生物の特徴 生物とエネルギー | 14 | | ①②③ | テスト・課題 |
| | 1学期期末考査 | 1 | | ①② | テスト |
| 7 | 第2部遺伝子とその働き | | | | |
| | 2章遺伝子とその働き 遺伝情報とDNA | 8 | | ①②③ | テスト・課題 |
| 8,9 | 2章遺伝子とその働き 遺伝情報とタンパク質の合成 | 7 | | ①②③ | テスト・課題 |
| | 2学期中間考査 | 1 | | ①② | 定期考査 |
| | 第3部ヒトの体の調節 | | | | |
| 10,11 | 3章神経系と内分泌系による調節 | 10 | | ①②③ | テスト・課題 |
| 12 | 4章免疫 | 5 | | ①②③ | テスト・課題 |
| | 2学期期末考査 | 1 | | ①② | テスト |
| | 第4部生物の多様性と生態系 | | | | |
| 1 | 5章植生と遷移 | 8 | | ①②③ | テスト・課題 |
| 2,3 | 6章生態系とその保全 | 8 | ①②③ | テスト・課題 | |
| | 学年末考査 | 1 | ①② | テスト | |
| | 合計 | 70 | | | |

(50分)

4 評価の観点の趣旨と評価方法

| 評価の観点の趣旨 | ①知識・技能 | ②思考・判断・表現 | ③主体的に学習に取り組む態度 |
|----------|--|--|--|
| | 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけている。 | 生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。 | 生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |
| 評価方法 | テスト(定期テスト・小テスト) 課題(授業プリント・レポート) | テスト(定期テスト・小テスト) 課題(授業プリント・レポート) | テスト(定期テスト・小テスト) 課題(授業プリント・レポート) |

令和7年度シラバス(体育)

学番53 県立小出高等学校

| | | | | | | | |
|-------------|--|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 教科(科目) | 保健体育(体育) | 単位数 | 3単位 | 学年 | 2学年 | コース | 共通 |
| 教科書 副教材等 | [主たる教材]大修館書店「現代高等保健体育」 [副教材]大修館書店「図説現代高等保健」 | | | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|--|
| グラデュエーション・ポリシー | ①全教科にわたる確かな学力と、学習や諸活動に粘り強く取り組むたくましい心身を育成します。 ②高い倫理観をもち、誠実にして自律した行動をとる態度と心を育成します。 ③多様な価値観を認めて他者と協力して取り組み、新しい価値を生み出す創造力を育成します。 ④郷土を愛し、地域社会に貢献しようとする心を育成します。 |
| カリキュラム・ポリシー | ①大学進学をはじめとした多様な進路希望に対応する教育活動を実施します。 ②ICTを有効に活用し、確かな学力の定着を図るとともに、他者と交流する教育活動を展開します。 ③たくましい心身の育成に重点を置いた部活動に取り組みます。 ④「医療専攻」を核として、地域と連携した総合的に探究的な時間を展開します。 |

2 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3 学習計画

| 月 | 内容 | 時間 | 指導上の留意点 | 評価の観点 | 評価方法 |
|----|-------------------|-----|--|---------|----------------|
| 4 | 体づくり運動 | 9 | ○体を動かす楽しさや心地よさを味わう ○継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる | a, c | 発表の様子(行動の確認) |
| 5 | 1学期中間考査 陸上競技 | 21 | ○記録の向上や競争を通して自己や仲間の課題を解決する ○技術の名称や行い方,体力の高め方,課題解決の方法,競技会の仕方などを理解する ○各種目特有の技能を身に付ける | a, c | 記録の計測(行動の確認) |
| 6 | | | | b | レポート(記述の点検) |
| 7 | 1学期期末考査 体育理論 | 6 | ○運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する ○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する | b | レポート(記述の点検) |
| | | | | c | 取り組みの様子(行動の確認) |
| 9 | 球技選択1 持久走 | 27 | [球技] ○勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わう ○技術などの名称や行い方,体力の高め方,課題解決の方法,競技会の仕方などを理解する | a, c | 発表の様子(行動の確認) |
| 10 | 球技選択2 校内マラソン大会 | | | b | レポート(記述の点検) |
| 11 | 球技選択3 球技選択4 | 25 | ○作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する [持久走・校内マラソン大会] ○自分で設定したペースを維持し,記録の向上を目指す | a, c | 記録の計測(行動の確認) |
| 12 | | | | 2学期期末考査 | a, c |
| | | | | b | レポート(記述の点検) |
| 1 | | | | | |
| 2 | スキー(アルペン) | 15 | ○安全なスピードでの滑走,停止,ターンなどの技術を習得する ○冬季の自然環境の変化を踏まえた健康・安全の確保の仕方,事故防止のマナーなどについて習得する | a, c | 発表の様子(行動の確認) |
| | | | | b | レポート(記述の点検) |
| 3 | 学年末考査 体育理論 | 2 | ○運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する ○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する | b | レポート(記述の点検) |
| | | | | c | 取り組みの様子(行動の確認) |
| | 合計 | 105 | | | |

(50分)

4 評価の観点の趣旨と評価方法

| 評価の観点の趣旨 | 知識・技能 a | 思考・判断・表現 b | 主体的に学習に取り組む態度 c |
|----------|--|--|--|
| | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解しようとしているとともに、技能を身に付けようとしている。 | 運動や健康についての自他や社会の課題を発見しようとしている。 合理的、計画的な解決に向けて思考し判断している。 他者に伝える力を身に付けようとしている。 | 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとしている。 |
| 評価方法 | (知識) 学習した内容について、練習中に伝えたり、ノートに書き出したりしている。 (技能) 前時に学習した具体例を実践し、プレーしている。 | ノートに課題と反省を書くことで、自己の活動の振り返る。 班ごとの授業計画を作成する。 グループワークで作戦や方針を決める。 | 学習ノートへの記入状況 質問に対する発信内容 授業準備等への参加 |

令和7年度シラバス(保健)

学番53 県立小出高等学校

| | | | | | | | |
|-------------|------------------------|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 教科(科目) | 保健体育(保健) | 単位数 | 1単位 | 学年 | 2学年 | コース | 共通 |
| 教科書 副教材等 | [主たる教材]大修館書店「現代高等保健体育」 | | | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|--|
| グラデュエーション・ポリシー | ①全教科にわたる確かな学力と、学習や諸活動に粘り強く取り組むたくましい心身を育成します。 ②高い倫理観をもち、誠実にして自律した行動をとる態度と心を育成します。 ③多様な価値観を認めて他者と協力して取り組み、新しい価値を生み出す創造力を育成します。 ④郷土を愛し、地域社会に貢献しようとする心を育成します。 |
| カリキュラム・ポリシー | ①大学進学をはじめとした多様な進路希望に対応する教育活動を実施します。 ②ICTを有効に活用し、確かな学力の定着を図るとともに、他者と交流する教育活動を展開します。 ③たくましい心身の育成に重点を置いた部活動に取り組みます。 ④「医療専攻」を核として、地域と連携した総合的に探究的な時間を展開します。 |

2 学習目標

| |
|---|
| 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |
|---|

3 学習計画

| 月 | 内容 | 時間 | 指導上の留意点 | 評価の観点 | 評価方法 |
|----|---------------------------|-------------------------|--------------------------------|------------------------------|---------------------|
| 4 | 思春期と健康 | 1 | 思春期の体と心の健康について理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | 性意識と性行動の選択 | 1 | 男女差の性的欲求や、性行動について理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| 5 | 結婚生活と健康 | 2 | 健康な結婚生活の留意点や、結婚生活の重要性を理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | 1学期中間考査 妊娠・出産と健康 | 1 | 受精・妊娠・出産の過程を理解し、健康への留意点を説明できる。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| 6 | 家族計画と人工妊娠中絶 | 2 | 家族計画の意義と避妊法、人工妊娠中絶について理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | 加齢と健康 | 2 | 加齢に伴う心身の変化や留意点を理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| 7 | 1学期期末考査 高齢者のための社会的取り組み | 2 | 高齢者の健康問題や総合的対策について理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | 保健制度とその活用 | 2 | 保健行政の役割やしきみ、保健サービスについて理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | 医療制度とその活用 | 2 | 医療保険のしくみを理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | 9 | 医薬品と健康 | 2 | 医療機関の選び方や医療情報をひきだす方法を理解する。 | a,b,c |
| 10 | | 2学期中間考査 さまざまな保健活動や対策 | 1 | 健康づくりを支援するさまざまな保健活動について理解する。 | a,b,c |
| | 大気汚染と健康 | 2 | 大気汚染の原因や起こり方、健康への影響を理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| 11 | 水質汚濁・土壌汚染と健康 | 2 | 水質汚濁や土壌汚染の原因や起こり方、健康への影響を理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | 健康被害の防止と環境対策 | 1 | 環境汚染の防止・改善への対策を理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| 12 | 2学期期末考査 環境衛生活動のしくみと働き | 2 | ごみ処理の過程や、し尿・下水道の整備について理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | 食品衛生活動のしくみと働き | 2 | 食品の安全性確保について理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| 1 | 働くことと健康 | 2 | 働くことと健康の相互影響について理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | | | | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| 2 | 労働災害と健康 | 2 | 労働災害の防止対策や職場の健康管理の必要性を理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | | | | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| 3 | 学年末考査 健康的な職業生活 | 2 | 職場や日常生活での健康増進について理解する。 | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| | | | | a,b,c | 定期考査、ノート、レポート、発表の様子 |
| 合計 | | 35 | | | |

50分授業

4 評価の観点の趣旨と評価方法

| 評価の観点の趣旨 | 知識・技能 a | 思考・判断・表現 b | 主体的に学習に取り組む態度 c |
|----------|---|---|--|
| | 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付けている。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとしている。 |
| 評価方法 | ・定期考査 ・小テスト | ・グループワークでの発言 ・調べ学習での観点 ・定期考査 | ・学習活動への参加状況 ・質問に対する発言内容 ・提出プリントの内容 ・課題の提出、取り組み状況 |